



謹賀新年



白崎小学校
デイサービス
訪問

福祉ゆら

社協シンボルマーク

ふれあいネットワーク

令和2年
(2020)

1月

— 広げよう 心のかよう 福祉の輪 —

第91号

福祉ゆら 第91号の主な内容

- 年頭のご挨拶 2
デイサービスだより おやつレクリエーション
白崎小学校5年生デイサービス訪問
- 福祉体験レポート 由良小学校4年生車イス体験 3
白崎小学校4年生高齢者疑似体験
ケアマネージャーよりお知らせ/ふれあいデイサロン
- ふれあいいきいきサロンめぐり 門前サロン野菊会 4
阿戸サロン・すまいる/第32回歳末チャリティーカラオケ大会/
由良町観光PRチャリティーゴルフコンペより募金
- 台風19号災害へのボランティア活動 5
ボランティアバス第6便に参加
- 年賀状であいさつ 6
ヘルパー通信/募集

社会福祉 由良町社会福祉協議会
法人

〒649-1121 和歌山県日高郡由良町吹井80-88
由良町地域福祉センター内

TEL.0738-65-3500/FAX.0738-65-3502

Email : vc-yura@naxnet.or.jp

ホームページアドレス

<http://www.shakyo.or.jp/hp/1302/>

年頭のご挨拶



由良町社会福祉協議会
会長 井上 充明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
旧年中は、社会福祉協議会に對しまして、ご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

新春を迎え、子年にふさわしく「目配り、気配り」をモットーに、高齢者や弱者と共に手を取り合い、見守り合い共に歩んでいきたいと思っております。



高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活を継続できるように介護支援・生活支援等に重きをおき由良町の福祉向上に努めて参りたいと職員一同、一丸となつて取り組んで参ります。
本年も、町民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

本年も、由良町社会福祉協議会をよろしく願います。

〈理事〉

会長 井上 充明
副会長 中田 邦城 岩崎 信子
理事 小浦 正義 岩崎 正
後藤 明子 山本 健志

〈監事〉

山口 毅 中村 真一
山下 和巳
則藤 訓章 角 栄一
事務局長 工徳 一夫
(敬称略)

デイサービスだより

おやつレクリエーション

11月18日から一週間、由良町社会福祉協議会のデイサービスでは、13時30分からのレクの時間にフレンチトースト作りをしました。卵液に漬けてやわらかくなったフレンチトーストは焼く工程でバターの風味が食欲をそそります。しかも調理工程が混ざる、ひたす、焼くの3つだけです。なので男性でも参加しやすくデイサービスでは人気のメニューです。どんどん焼いて皿に盛っていく姿はもはや職人さんでした。どの方も手際よく作り楽しく過ごされました。



白崎小学校5年生デイサービス訪問

12月10日に白崎小学校の5年生11名の皆さんがデイサービスを訪問してくれました。施設内の見学では、特殊浴槽(ベッド浴)のベッドに横になって浴槽に入るなどの体験を行ったり、送迎用の福祉車両に車イスで乗る体験を行いました。体験後は利用者の皆さんに「パプリカ」の曲を歌いながらのダンスや、利用者さんと一緒にあやとりやお手玉をして交流しました。利用者の方からは「昔はよくやって遊んだ」「懐かしいわ」などの声も聞かれました。最後に児童の皆さんから手作りのプレゼントがあり、利用者の皆さんは「帰って家に飾るよありがとう」などと話していました。



児童の皆さん本当にありがとうございました。

福祉体験
レポート①

由良小学校4年生車イス体験

10月18日、由良小学校の4年生24人が総合的な学習の授業の一環として車イス体験を行いました。体育館内に運動用マットなどで特設のコースを設置、生徒達は2人1組となり体験を行いました。悪路に見立てたマットの上では思うように車イスが動かず悪戦苦闘



する様子も見られました。「何も無い場所だと簡単に進むけれど、道が悪くなると大変だった。道路に出ると見えない危ない所が多いと思う」などの感想を聞くことが出来ました。

福祉体験
レポート②

白崎小学校4年生高齢者疑似体験

11月7日、白崎小学校の4年生12名を対象に高齢者疑似体験を行いました。由良町の人口や高齢化率を学んだ後に2人1組となり体験者と介助者の2つの体験を行いました。目が見えにくくなるゴーグルを装着して新聞を読むと「小さな漢字が見えにくい、数字もはつきりしない」という意見や、関節が曲がりにくくした状態での階段の昇り降りでは「いつものように足が上がらず昇れない、手すりがあると安心できる」などの意見も聞くことが出来ました。この

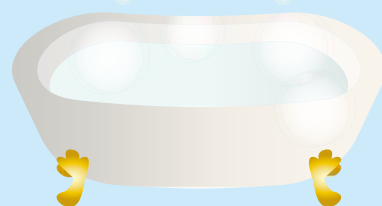


授業を通して、バリアフリー（段差の解消）環境づくりや、相手への声かけ、相手の気持ちを考えるなど多くの気づきが生まれる体験となりました。

ケアマネージャーよりお知らせ

冬の入浴は
ヒートショックにご用心を！！

凍えるような冬のお風呂、寒い脱衣所で衣服を脱いで、ブルブル震えながら浴槽に急ぐなんてことはありませんか？居間に暖房器具を置いて暖かくしているのと同様に、脱衣所にも暖房器具を置き、入浴前に温めておかないと、激しい温度差で心筋梗塞や脳出血、脳梗塞などによる突然死を引き起こす原因となります。特に入浴時の温度差が大きくなりがちな12月、1月は1年のうちで入浴中の突然死が最も増えるので注意が必要です。浴室もシャワーを高い位置に設置してお湯をはれば、浴室全体を温めることができます。いろんな工夫を凝らすことで、ヒートショックを予防しましょう。



ふれあいデイサロン

10月23日、ふれあいデイサロンの利用者の方で高野山へ日帰り旅行に出かけました。



一の橋観光センターで美味しい昼食の後は奥の院に参拝しました。普段見る事の出来ない美しい景色に、心も体も大満足の1日となりました。



ふれあい・いきいきサロンめぐり

門前サロン野菊会

11月14日に門前住民センターで、今年度5回目となるいきいきサロンが行われました。この日は、ボランティアさん手作りの炊き込みご飯、カボチャの煮物、キャベツの煮物、すまし汁を食べ、お腹一杯になった後は、貴山流観園会の皆様による日本舞踊が披露されました。今回は日本舞踊に華を添えるように、ご近所の方が立派な屏風を持ってきてくださり、一段と美しさが際立ちました。日本舞踏の鑑賞の後はオヤツを食べて解散、この日も楽しい時間を過ごしました。



阿戸サロン・すまいる

11月28日阿戸会館でサロンすまいるが行われました。今月もボランティアさん手作りの、冬瓜入りにゆうめん、柿の葉ずし、ポテトサラダに舌鼓、少し寒い日でしたが、心も体もポカポカとなりました。昼食後は阿戸サロンを過去に取材したテレビ放送をスクリーンで上映、「あんな



今の方が若く見えるわ」「あの人は今も若みえる」など当時と今を比べて楽しく過ごしました。

第32回歳末チャリティーカラオケ大会

司会の
吉田ひとみ様



12月15日午後1時30分より中央公民館でチャリティーカラオケ大会が開催されました。今年は昨年までと違い、日曜日のお昼からの開催となりました。皆さん日頃鍛えた歌声や踊りで会場は大盛況となりました。開催に際し皆様から頂戴した善意のお金10万2760円は歳末たすけあい募金に充当させて頂きました。ご協力くださいました皆様、ご来場の皆様には紙面をお借りして深く感謝申し上げます。



由良町観光PRチャリティーゴルフコンペより募金

11月6日、印南町の紀南カントリークラブにて、第9回由良町観光PRチャリティーゴルフコンペが開催されました。

県内外から177人が参加され、熱戦を展開。表彰式で岡眞治実行委員長から由良町社会福祉協議会の井上充明会長にチャリティー募金が贈呈されました。



台風 19 号災害へのボランティア活動 ボランティアバス第 6 便に参加

和歌山県と和歌山県社会福祉協議会・県災害ボランティアセンター主催による災害ボランティアバスに参加しました。台風19号により甚大な被害が発生した地域への被災者支援を目的として、栃木県栃木市災害ボランティアセンターへ11月1日に第1便が出発。第2便からは長野県長野市災害ボランティアセンターでの活動となり、私が参加したのが第6便、現地活動は12月4日と5日でした。

農園のあちらこちらで水害のため山積となったリンゴ



千曲川決壊付近の体育館の様子



活動内容は、主に復旧や生活再建に向けた家屋内外の片付けということで、初日は畑に積もった泥かき、2日目はりんご農園のお宅の庭の泥かきでした。また、庭からりんご畑が続いており、別のグループはそちらでの活動ということで、広い農園では人手が必要と感じました。またこの日は、取り除く土に混ざっている石・ガラス・その他と分別が必要ということで、スコップで土を一輪車に乗せては、中腰での分別といった流れでした。第6便の参加は全員で20名。事前に3つのグループに分けられていて、現地では活動内容により、全員が同じ活動だったり、グループに分かれてだったり、家の中の拭き清掃で女性の人だったり、その場で臨機応変に対応。今回の参加20名の中で、災害ボランティア活動経験者は14人、初めての方が6人ということでした。

個人的には、平成23年8月の紀伊水害の際、日高川町災害ボランティアセンターにスタッフとしての参加、またボランティアとしても活動をした経験はあるものの、年数も経っていることからお役に立てるかなと心配しながらの参加でした。

活動先が千曲川の決壊付近でもあり、被害は大きかったです。まだ倒れかかっている家屋もあり、これから本格的に寒い冬を迎えることから、復旧・生活再建には、まだまだ日数がかかると思いました。

和歌山県災害ボランティアセンターでは、各地で災害が発生し災害ボランティアセンターが設置されると、今回私が参加したように必要に応じボランティアバスを運行し、ボランティア募集を行います。個人登録者には、その情報が届くようになっています。今回20名の参加者の中には、県・社協・関係団体の他に11人の個人登録者の方々がいらっしゃいました。

大規模でなくても中規模・小規模な天候による災害が多発しています。最近では、被災地の社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置することが多くなっています。それ故、社会福祉協議会の職員には災害ボランティアセンター運営中核者としてのスタンスを身に付けることが求められ、和歌山県社協・県災害ボランティアセンター主催による研修等にも積極的に参加し、研鑽を深めたいと思います。



〈レポート 東〉

＜活動先＞長野県長野市内（長野市災害ボランティアセンター）

		備考	
12月3日(火) 【第6便】	23:00 準備 でき次第	和歌山ビッグ愛1階ロビー集合 ・参加費の徴収 ・オリエンテーション 和歌山ビッグ愛 出発 【和歌山IC→＜阪和・第二京阪・ 名神＞→小牧JCT→＜中央道・ 長野道＞→長野IC】(車中泊)	・休憩は2時間毎 を予定(深夜運 行は異なる) ・サービスエリア で朝食、昼食 等購入
12月4日(水)	8:30頃	長野市災害ボランティアセンター着	
	9:00～ 16:00	活動開始(安全第一) 活動終了(報告)	
	16:30～ 19:00	長野市災害ボランティアセンター 出発 ・宿泊(入浴、夕食)	・宿泊先(夕食 は、各自で)
12月5日(木)	8:00～ 8:45	ホテルで朝食 災害ボランティアセンターへ	・チェックアウト 後バスに荷物 積み込み
	9:00～ 16:00	活動開始(安全第一) 活動終了(報告)	
	16:30～ 17:30	長野駅発→長野市内(入浴等) →和歌山【高速道→＜上信越 道・長野道・中央道・名神高速・ 京滋バイパス、第二京阪、近畿 道、阪和道＞→和歌山IC】	・入浴、食事 ・3回程度各10 分休憩(予定)
	12月6日(金)	和歌山ビッグ愛 到着(解散)	

災害ボランティアとして個人登録したい、もっと詳しく知りたい等のお問い合わせは、
和歌山県社会福祉協議会・和歌山県災害ボランティアセンター Tel 073-435-5220まで

ヘルパー通信

～寝床が暖かくなる
毛布の使い方～

あったかい毛布が心地よい季節がやってきますね。寒い冬は暖かい布団でぐっすり眠りにつきたいものです。

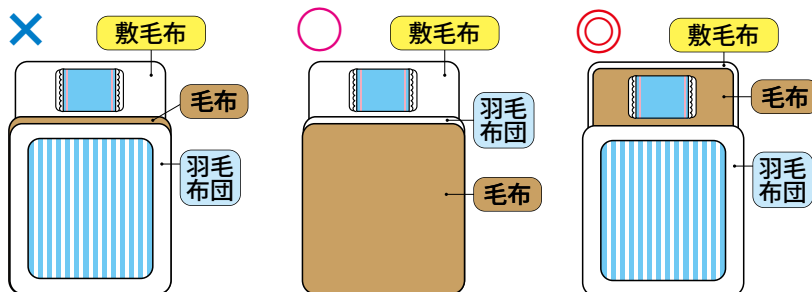
毛布の使い方ひとつで暖かさ倍増!! **秘** テクニックのご紹介です。

ポイント① 毛布をかけるのではなく敷く。

ポイント② 掛け布団の上に毛布をかける。

『毛布を敷いて、掛け布団の一番上に毛布を掛ける』これが最強の組み合わせです!

皆様も正しい毛布の使い方でお過ごし下さい。



年賀状でごあいさつ

由良中学校の生徒の皆さんが今年も年賀状を作成してくれました。見ているだけで心が和むかわいいイラストや工夫を凝らした心のこもった手書きの年賀状は、町内 75 才以上の一人暮らしの方々に発送されました。



募 集

臨時職員募集!!

- ・ **仕事内容**
社会福祉事業事務
(総務・経理一般事務、ボランティア活動の支援業務等)
- ・ **資 格**
普通自動車運転免許
- ・ **採用年月日**
令和2年4月1日
- ・ **申 込 み**
履歴書を持参のうえ由良町社会福祉協議会へ
- ・ **申込み締切日**
令和2年2月10日(月)まで
(ただし、土・日・祝日は除く)
- ・ **勤務場所**
由良町社会福祉協議会
(由良町吹井80-88)



介護職員（デイサービス）募集!!

- ・ **資 格**
普通自動車運転免許
- ・ **勤務時間**
8時30分～17時30分(8時間)
8時30分～12時30分(4時間)
週3日から4日の勤務
- ・ **仕事内容**
介護業務(送迎介助、入浴介助 等)
- ・ **勤務場所**
由良町地域福祉センター
(由良町吹井80-88)



※詳しいことは、由良町社会福祉協議会 TEL65-3500 までお問い合わせください